

第14回 グリーン購入大賞 事例発表

生物多様性保全活動と組み合わせた カーボンオフセットへの取り組み

2012年10月19日
NECフィールドイング株式会社
執行役員
吉住 和彦

発表内容

1. NEC フィールディングの紹介

1 - 1. 事業領域

1 - 2. 国内拠点

2. 環境経営の展開

3. カーボンオフセットへの取り組み

3 - 1. 当社のカーボンオフセット活動（2009～2011年度）

3 - 2. カーボンオフセットにおける課題と新たな取り組み

4. 熱帯雨林保全による排出権創出

4 - 1. 生物多様性保全と組合わせたカーボンオフセット活動

4 - 2. オランウータンが棲む森づくりプロジェクト

まとめ

1 . N E C フィールディングの紹介

社名 : N E C フィールディング株式会社
本社所在地 : 東京都港区三田 1 - 4 - 2 8 (三田国際ビル)
創立 : 1 9 5 7 年 (昭和 3 2 年) 3 月
2 0 0 0 年 (平成 1 2 年) 4 月 現社名へ改称

代表取締役

執行役員社長 : 伊藤 行雄

資本金 : 9 6 . 7 億円

売上高 : 1 , 8 3 7 億円 (単体 : 1 , 8 0 9 億円)

従業員数 : 6 , 1 7 0 名 (単体 : 5 , 4 7 4 名)

拠点数 : 国内 : 4 4 4 拠点 (単体 : 4 0 8 拠点)

海外 : 2 ヶ国 9 拠点

いずれの数値も2012年3月期



伊藤 行雄

1 - 1 . 事業領域



ITシステムのライフサイクル
全てのサポートサービスを提供

保守サービス

法人向け及び個人向けITネットワーク機器や
システムに関する保守・修理サービスを提供する事業



システム展開サービス

ITシステムのセットアップ(新設)、移設、
増設、撤去作業ならびに
ネットワークシステムの構築及び電源、
空調、耐震設備、セキュリティシステム等の
設置サービスを提供する事業



サプライサービス

ITシステムに関連した消耗品
(トナー・インクリボン・用紙)及びIT機器
ソフトウェア等を販売する事業



運用サポートサービス

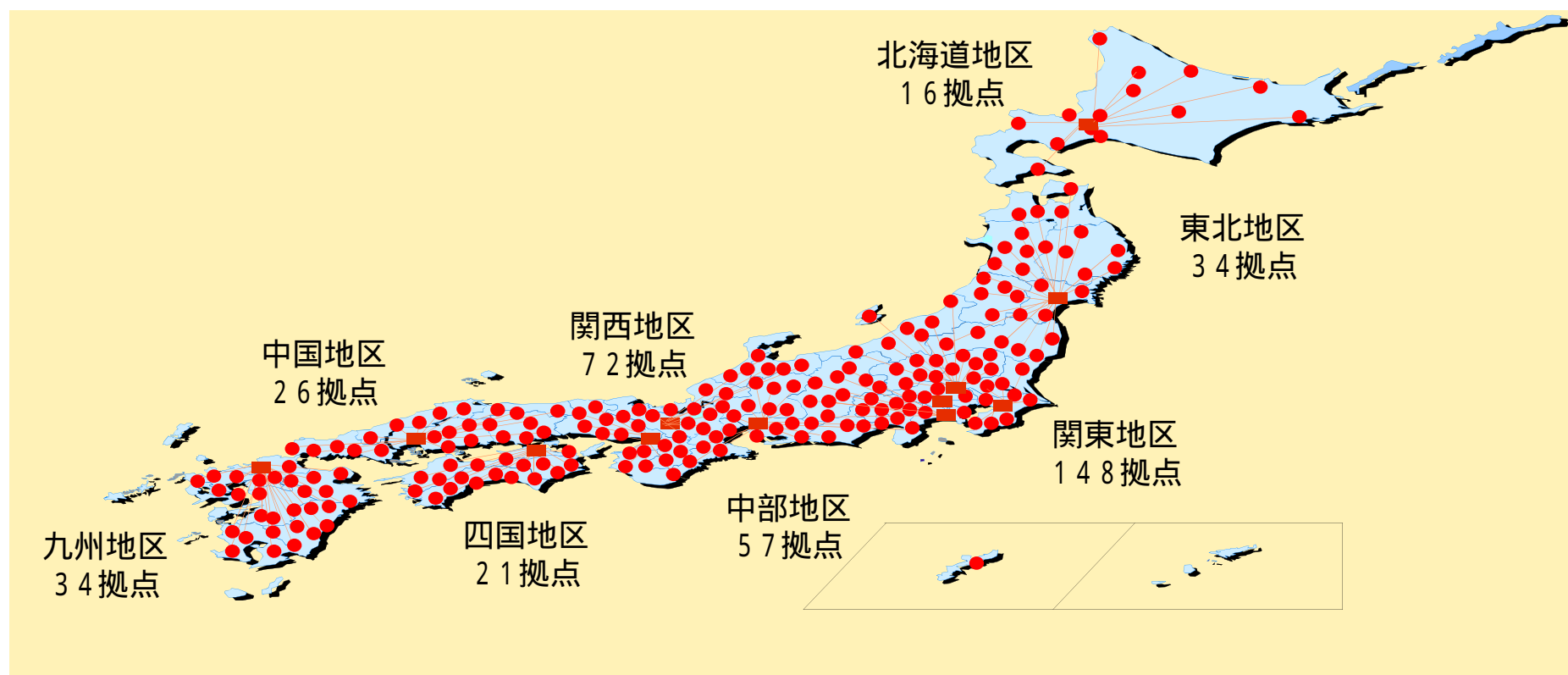
コンピュータの運用・管理 の代行、
ヘルプデスク等のサポートサービスを
提供する事業



1 - 2 . 国内拠点

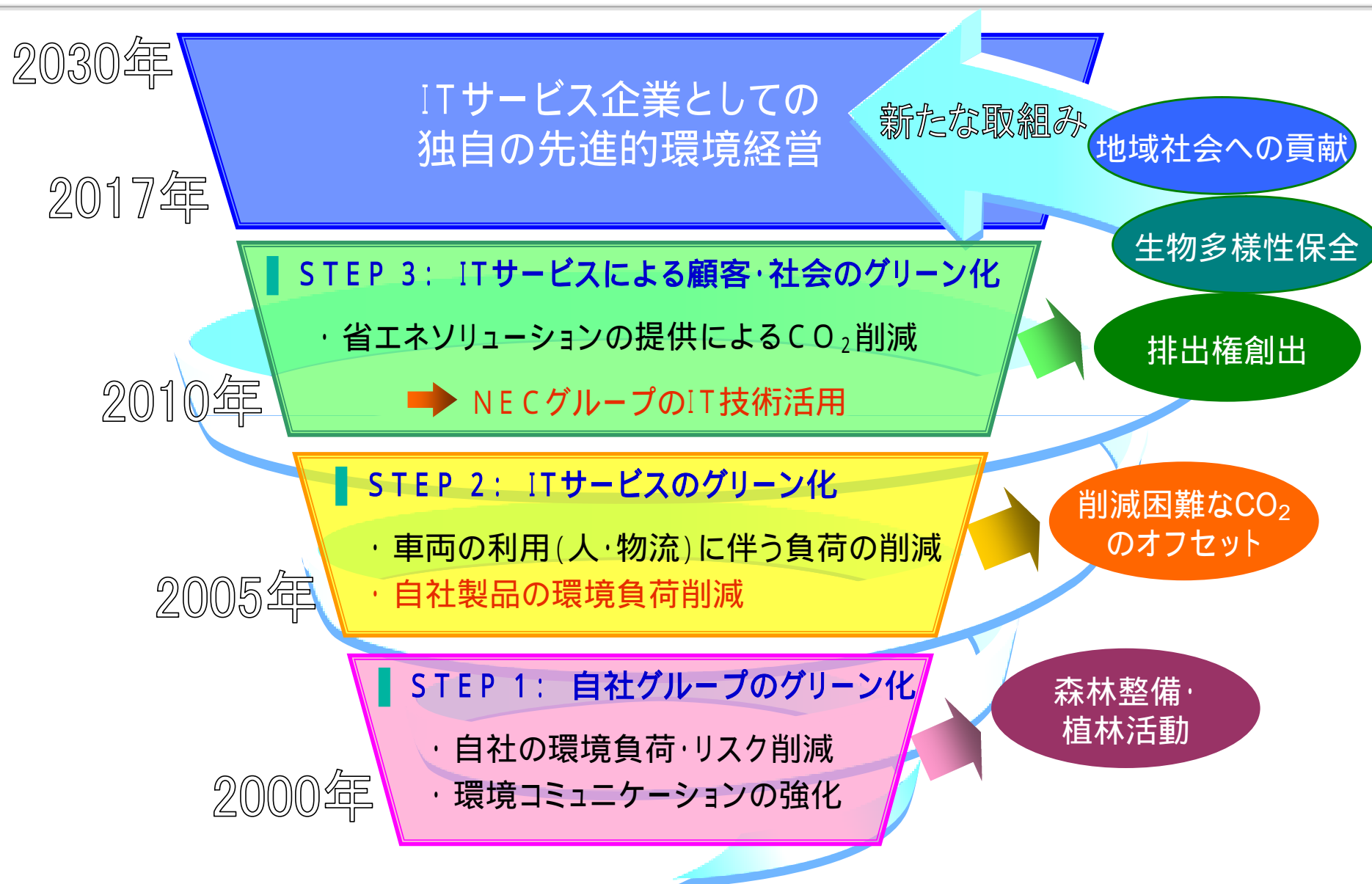
全国均質なサービス提供で事業を展開

国内408拠点(単体) 5,474名体制 (エンジニア約4,000名)



(注) データは2012年3月期

2. 環境経営の展開



3. カーボンオフセットへの取り組み

■ グリーン購入をめぐる動き

政府機関・自治体において、グリーン購入法に基き、環境配慮製品購入等を推進

【グリーン購入の一例】

- ・ 対象： 無停電電源装置 (UPS)
- ・ 入札条件 (環境関連)： 省エネ型、**カーボンオフセット付き**、RoHS対応等

- ・ 今後、**カーボンオフセット等**が入札条件になる
グリーン購入・CSR購入が増えると予想される。
- ・ **製品・サービスの環境価値を向上**させ、お客さまにアピールできる。

■ 当社のカーボンオフセットへの取り組み (2009年度～)

- ・ **顧客アピールの大きい製品**から開始し、今後、**対象製品・サービスを拡大**
- ・ インドの風力発電プロジェクトによる排出権を購入 (2009～2011年度)

3 - 1 . 当社のカーボンオフセット活動 (2009 ~ 2011年度)

法人向けオフィス用品通販カタログ「い〜るでいんぐ」

- 印刷・製本・輸送過程で排出されるCO₂をオフセット
- CO₂排出量の算定値2.8kg / 冊に対し、3.0kgをオフセット
カーボンマイナス
- オフセット累積量: 約590トン (2009 ~ 2011年度)



無停電電源装置 (UPS)

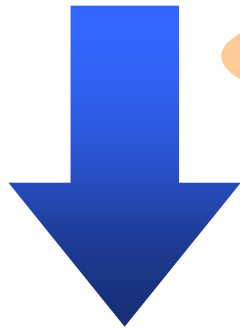
- 当社主力商品の省エネ型ハイブリッド方式UPSにおいて、お客さま使用時のCO₂をオフセット
- 2010年度より、対象機種を拡大
- オフセット累積量: 約1400トン (2009 ~ 2011年度生産分)



3 - 2 . カーボンオフセットの課題と新たな取り組み

課題

対象製品・サービスの拡大には、**多量の排出権**が必要
排出権の**意味や効果がわかりにくく、身近に感じられない**
当社の取り組みの意義が**お客さまに伝わりにくい**



・ 当社は、2005年より、インドネシアにおいて、CSR活動として毎年**植林活動を実施**

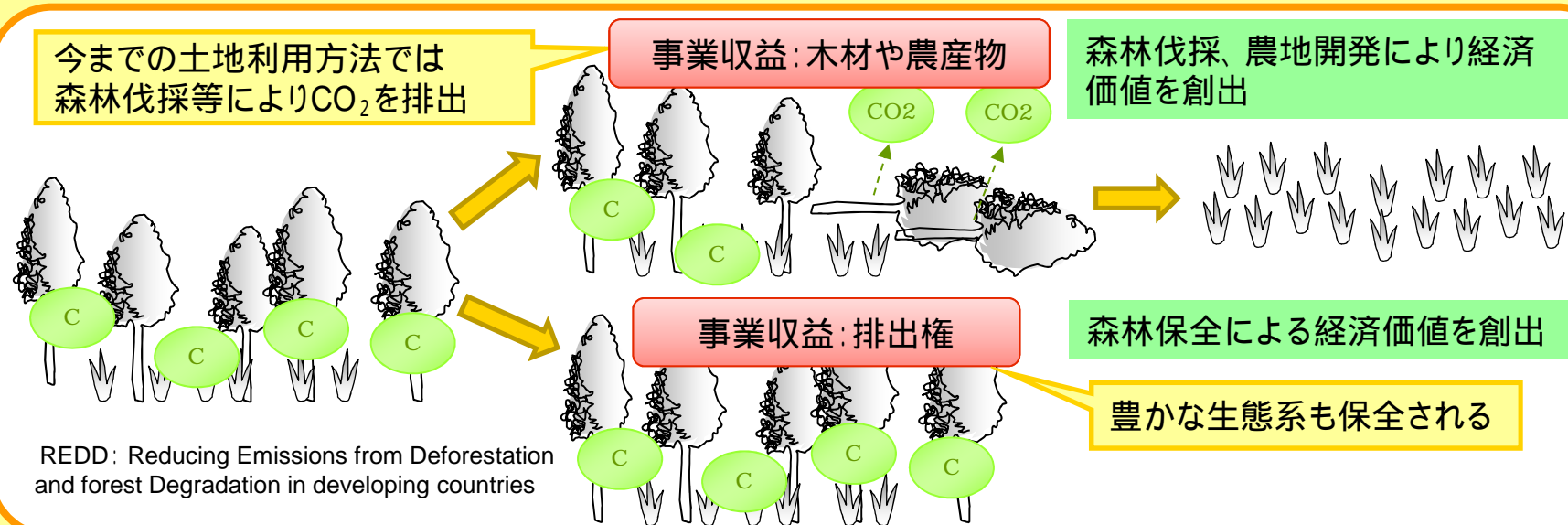
- ・ 世界のCO₂排出量の18%は**森林減少**由来
(約1 / 3はインドネシア熱帯雨林で発生)
- ・ **豊かな生物多様性**が熱帯雨林の特徴

新たな取り組み (2012年 ~)

- ・ 排出権創出事業に取り組み、**自前の排出権**を確保
- ・ 「わかりやすさ、身近さ」の観点から、**熱帯雨林保全**による排出権に注目
- ・ さらに、「**生物多様性保全 + 地域社会への貢献**」の価値付加を検討

4. 熱帯雨林保全による排出権創出

森林減少・劣化防止によりCO₂排出を抑制し、対価として排出権を創出する制度 (REDD) を活用



現地協力機関: BOS財団 (The Borneo Orangutan Survival Foundation)

- ・ インドネシア・東カリマンタン州において、オランウータン保護活動と生態系回復・保全のための植林事業を実施
- ・ 生物多様性保全、温暖化防止、地域社会安定・発展を目指し、REDD事業にも取り組む



4 - 1 . 生物多様性保全と組合わせたカーボンオフセット活動

■ 排出権の創出とカーボンオフセットへの活用（2012年度～）

- ・ B O S 財団との協働事業「**オランウータンが棲む森づくりプロジェクト**」を開始
- ・ 当社独自基準により植林で吸収されるCO₂量を算定し、**排出権を創出**

「い～るでいんぐ」カタログ：2012年4月版より適用

UPS：2012年10月製造分より適用予定

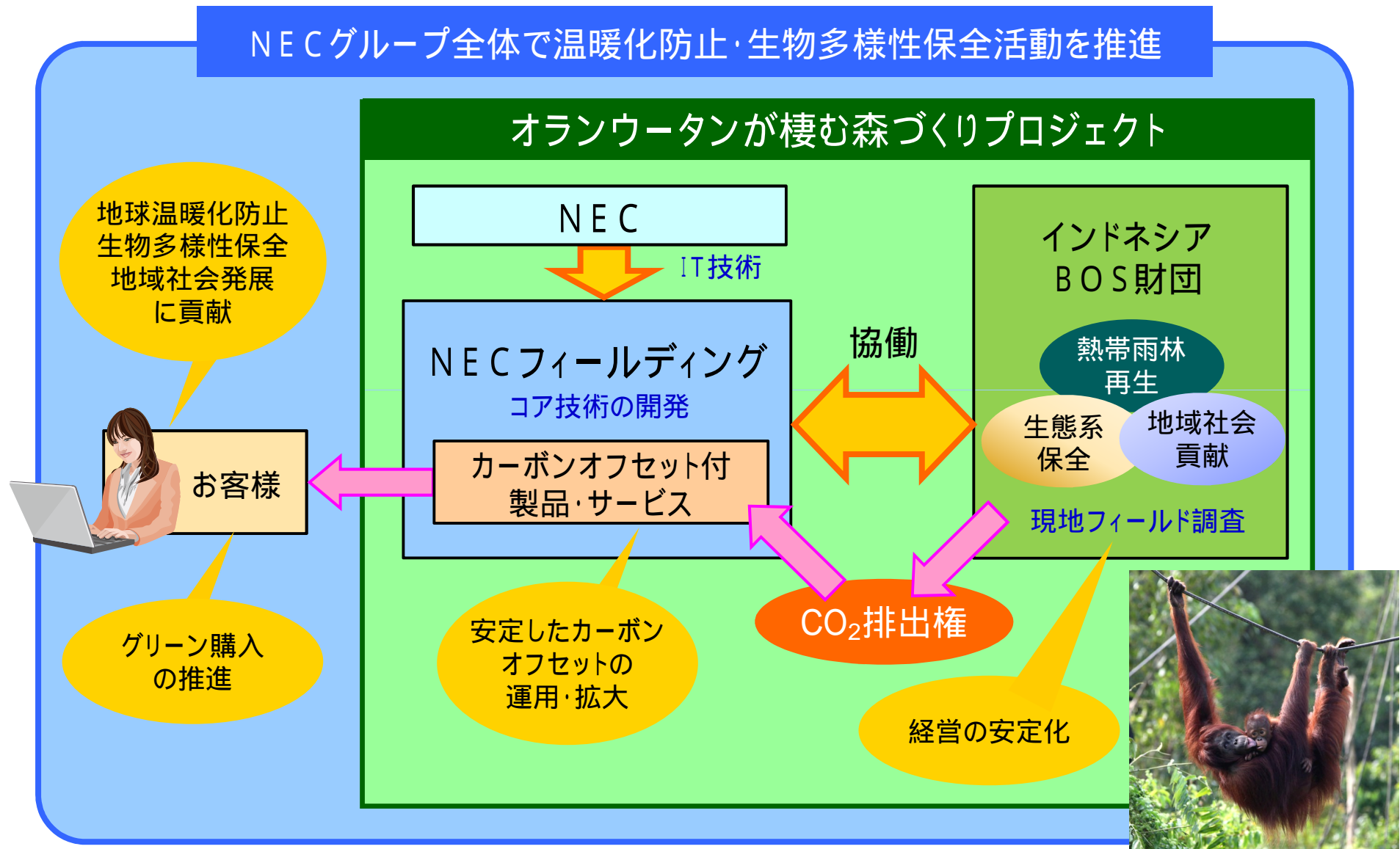
■ 今後、**IT技術を活用し、排出権創出を拡大**

- ・ ITを活用した森林モニタリング技術、炭素吸収量の測定・報告・検証方法論の開発

カーボンオフセット対象**製品・サービスの拡大**

事業領域のカーボンニュートラル化への展開

4 - 2 . オランウータンが棲む森づくりプロジェクト



まとめ

■ ITサービス企業として、独自の環境経営活動を展開

- ・ 自社の事業活動から顧客・社会の負荷削減まで、領域を拡大し、ステップアップを図りながら活動を推進

■ 削減が困難なCO₂排出に対してカーボンオフセットを実施

- ・ 2009～2011年度、通販カタログ及びUPSにおいて、約2000トンのCO₂排出量をオフセット（2012年度：約1100トン見込み）

■ 「オランウータンが棲む森づくりプロジェクト」をスタート（2012年度～）

- ・ インドネシアの熱帯雨林保全活動により排出権を創出
- ・ 排出権に、生物多様性保全及び地域社会への貢献による価値を付加
- ・ IT技術の活用により、排出権創出の拡大を目指して、コア技術開発を推進

Empowered by Innovation

NEC

NECフィールディング